

# Daily Macro Economic Insights

貿易収支(通関統計)(2024年5月)

—輸出金額の増加傾向は継続、輸出数量は減少幅縮小—



PwC Intelligence シニアエコノミスト 伊藤 篤  
チーフエコノミスト、執行役員 片岡 剛士

## 輸出金額の増加傾向は継続／輸入金額は2か月連続で増加

財務省から、2024年5月の貿易統計が公表された(図表1)。輸出金額(名目、原数値)は8兆2,766億円、前年比+13.5%となった。6か月連続で増加した。業種別では、輸送用機器が前年比+16.9%(寄与度+3.6%ポイント(以下、ppt))となった。電気機器は同+16.9%(寄与度+2.7ppt)、うち半導体等電子部品は+1.3pptと半分程度を占めた。また、一般機械が同+9.8%(同+1.8ppt)となり、半導体等製造装置が寄与度+1.5pptと増加のかなりの部分を占めた。一般機械、電気機器はそれぞれ6か月連続で増加した。輸出の増加は、輸送用機械だけでなく、電気機器・一般機械にも広がる構図が続いている。

輸入金額(同)は9兆4,979億円となり、前年比+9.5%と2か月連続で増加した。寄与度がもっとも大きかったのは一般機械で、前年比+17.2%(寄与度+1.6ppt)となった。電算機類(含む周辺機器)、原動機が増加した。次にエネルギー関連の鉱物性燃料が同+6.3%(同+1.4ppt)となった。また、食料品、化学製品、原料別製品も増加した。

貿易収支(原数値)は-1兆2,213億円となり、2か月連続のマイナスとなった。なお、季節調整済み値では、輸出が8兆9,574億円(前月比+1.2%)、輸入が9兆5,756億円(同+1.5%)となり、貿易収支は-6,182億円(同+6.3%)であった。

## 米国向けは好調持続／欧州向けは減少幅拡大／中国・アジア向けはやや回復

次に地域別の名目輸出動向を確認しておこう。4月の米国向けは前年比+23.9%となった。商品別には、自動車を含む輸送用機器が寄与度+12.0ppt押し上げた。それ以外では化学製品、一般機械、電気機器で増加した。4月のEU向けは、前年比-10.1%と2か月連続で減少した。商品別では輸送用機器、一般機械、原料別製品で減少した。輸送用機器は、自動車の減少が大きく寄与した。中国向けは、4月に前年比+17.8%と増加した。6か月連続での増加となった。一般機械が寄与度+8.0pptと押し上げた。このうち、半導体等製造装置が+8.0pptと大きな増加となった。それ以外では原料別製品、化学製品が押し上げた。また、中国以外のアジア向けは、前年比+11.4%となり、5か月連続での増加となった。

図表1: 貿易収支の推移

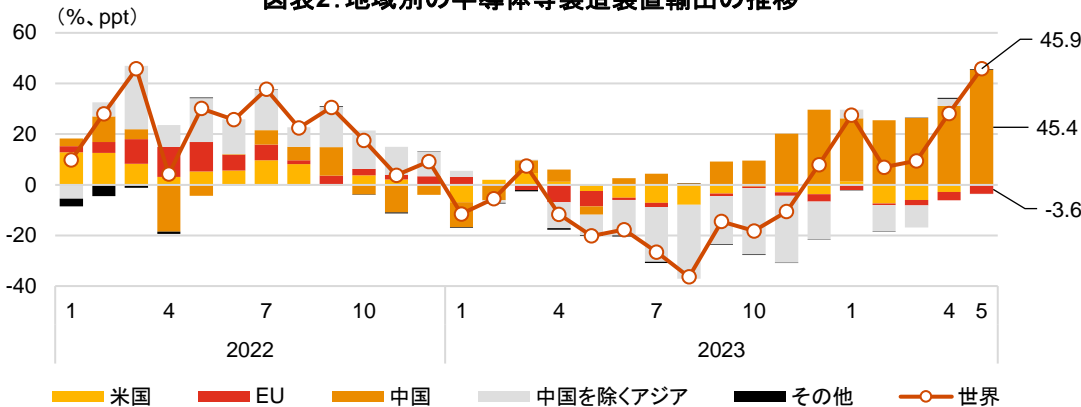
	名目(兆円)			名目・前年比(%)													
	輸出	輸入	収支	輸出総額								輸入総額					
				地域別				商品別				商品別					
				米国	EU	中国	中国以外のアジア	輸送用機器	一般機械	電気機器	鉱物性燃料	電気機器	化学製品				
2022年	5月	7.3	9.7	▲2.4	15.8	13.7	10.5	▲0.3	28.5	▲5.4	13.2	11.1	49.0	151.7	36.4	25.9	
	6月	8.6	10.0	▲1.4	19.2	15.7	22.2	7.4	25.8	3.4	14.3	17.1	45.9	139.4	32.7	34.1	
	7月	8.8	10.2	▲1.5	19.0	14.0	31.7	12.8	26.1	14.5	17.3	13.8	47.7	129.6	31.3	28.9	
	8月	8.1	10.9	▲2.8	22.0	33.8	16.7	13.4	20.9	30.8	17.0	13.0	49.3	119.3	38.4	27.0	
	9月	8.8	10.9	▲2.1	28.9	45.2	33.2	17.0	22.6	75.0	23.8	19.5	46.1	118.1	38.5	34.6	
	10月	9.0	11.2	▲2.2	25.3	36.5	28.1	7.7	21.9	61.4	17.6	17.9	54.1	107.9	45.7	53.1	
	11月	8.8	10.9	▲2.1	20.0	32.6	32.0	3.5	16.4	33.8	18.9	11.4	30.6	60.8	24.2	32.7	
	12月	8.8	10.3	▲1.5	11.5	16.9	27.0	▲6.2	10.4	14.4	13.2	6.2	21.2	44.5	9.1	30.5	
	2023年	1月	6.6	10.1	▲3.5	3.5	10.4	9.5	▲17.1	2.3	9.2	4.5	▲1.5	17.5	46.4	11.7	1.8
		2月	7.7	8.6	▲0.9	6.5	14.9	18.6	▲10.9	4.0	16.1	1.4	▲1.7	8.3	18.6	15.8	▲2.6
		3月	8.8	9.6	▲0.8	4.3	9.3	5.1	▲7.7	2.5	23.0	1.7	▲4.5	7.0	11.6	8.9	▲14.9
		4月	8.3	8.7	▲0.4	2.7	10.5	11.8	▲2.8	▲8.0	19.8	▲0.1	▲4.3	▲2.7	▲18.1	12.9	▲4.0
5月		7.3	8.7	▲1.4	0.6	9.4	16.6	▲3.4	▲10.4	38.9	▲3.6	▲8.0	▲10.2	▲27.7	▲1.9	▲13.5	
6月		8.7	8.7	0.0	1.5	11.5	15.0	▲10.9	▲7.0	38.1	▲1.5	▲6.3	▲13.1	▲33.2	▲7.8	▲13.9	
7月		8.7	8.8	▲0.1	▲0.3	13.5	12.4	▲13.4	▲13.2	22.7	▲4.5	▲7.3	▲14.1	▲36.7	▲1.8	▲12.7	
8月		8.0	8.9	▲0.9	▲0.8	5.1	12.7	▲11.0	▲7.6	25.6	▲9.6	0.2	▲17.7	▲35.9	▲6.1	▲15.5	
9月		9.2	9.1	0.1	4.3	13.0	12.9	▲6.2	▲3.3	21.2	▲1.4	▲4.0	▲16.5	▲38.0	▲7.9	▲23.4	
10月		9.1	9.8	▲0.7	1.6	8.5	8.9	▲4.0	▲6.1	27.5	▲6.4	▲3.9	▲12.4	▲27.8	5.6	▲17.2	
11月		8.8	9.6	▲0.8	▲0.2	5.3	▲0.0	▲2.2	▲5.1	11.3	▲10.2	▲0.4	▲11.8	▲25.5	4.7	▲19.5	
12月		9.6	9.6	0.1	9.7	20.2	10.3	9.5	▲0.4	36.6	2.0	1.2	▲6.8	▲17.8	8.8	▲18.7	
2024年	1月	7.3	9.1	▲1.8	11.9	15.6	13.8	29.2	7.3	24.1	5.2	7.6	▲9.7	▲22.4	▲8.7	▲12.3	
	2月	8.2	8.6	▲0.4	7.8	18.4	14.6	2.5	2.2	20.1	3.7	7.7	0.6	▲14.2	0.3	▲7.0	
	3月	9.5	9.1	0.4	7.3	8.5	3.0	12.6	3.6	10.3	3.9	9.9	▲5.1	▲11.5	▲3.2	▲8.7	
	4月	9.0	9.4	▲0.5	8.3	8.8	▲2.0	9.6	9.8	15.9	5.7	8.5	8.3	5.4	1.3	▲1.4	
	5月	8.3	9.5	▲1.2	13.5	23.9	▲10.1	17.8	11.4	16.9	9.8	16.9	9.5	6.3	0.7	5.1	

(出所) 財務省より筆者作成。

### 半導体製造装置輸出: 中国向けの大幅増加が更に拡大

上記でみたように半導体関連は、同製造装置、同電子部品の輸出が増加している。図表2で改めて地域別の半導体等製造業装置の輸出をみると、世界全体向けでは5月単月で前年比+45.9%となった。前月の同+28.2%よりも更に伸びが加速した。地域別にみると、4月の中国向けが寄与度+45.4pptとほぼすべてを占めた。7か月連続で20ppt以上の押し上げとなった。昨年10月の中国企業の製造するスマートフォンの機能向上を受けて、米国が追加の半導体規制導入を発表した。中国以外では、米国向けで増加し、中国を除くアジア向けは横ばい、EU向けは減少した。半導体以外にも、米国が中国企業の製造するEV車への関税を100%に引き上げる決定を行うなど、産業政策・関税政策等を用いた貿易摩擦が高まっており、その影響を注視したい。

図表2: 地域別の半導体等製造装置輸出の推移



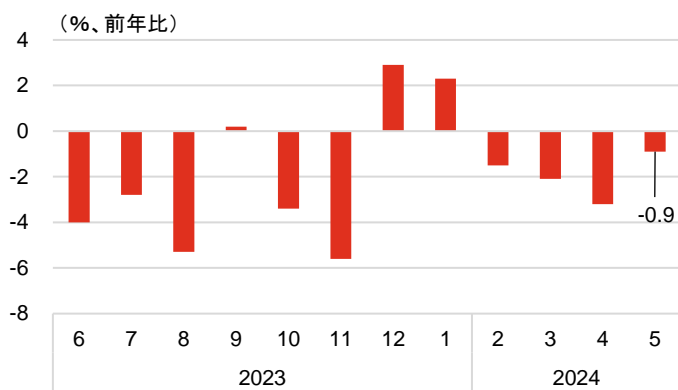
(出所) 財務省より筆者作成。

### 輸出数量: 米国向けが増加に転じ、EU向け減少が拡大

以上は名目値での議論であるが、足元の輸出入は価格変化の影響を大きく受けているため、その影響を除いた輸出数量指数(財務省公表値)を確認しておこう。5月の輸出数量(図表3)は、前年比-0.9%(前月: 同-3.2%)となった。1月から3月は減少幅が拡大し、4月はやや縮小した。図表4で地域別の動向をみると、4月は米国向けが同+6.7%(前月: 同-2.3%)となり、先月の減少から増加に転じた。EU向けは同-17.9%となり、3か月連続で減少し減少幅が拡大した。中国向けは同-0.4%(前月: 同-5.1%)と2か月連続の減少となった。アジア向けは同+0.7%となり、4か月ぶりに増加したものの、動きは弱い。

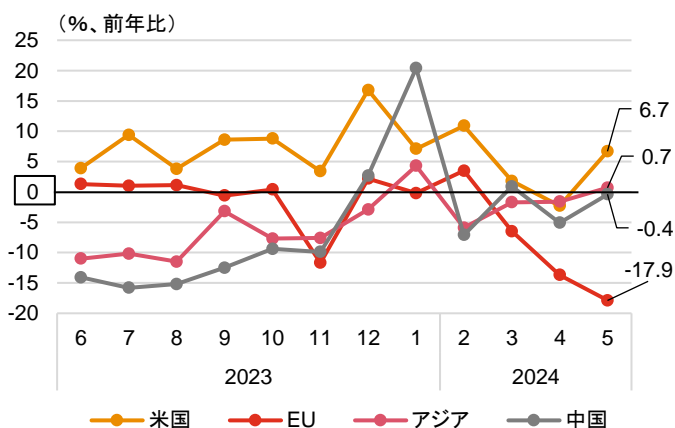
輸出金額の増加は継続しているものの、輸出数量は減少している。輸出数量では米国向けが増加に転じたものの、中国・アジア向けは概ね横ばいとなった。一方、EU向けは減少傾向が継続している。GDP統計での財貨の名目輸出は、1-3月期に前期比-3.7%と落ち込んだ。自動車の生産停止の影響を受けた落ち込みとみられ、4-6月期には反動増が期待されていた。しかし、4月、5月の輸出数量の動きからは反発の動きが弱いことが示唆される。輸出の反動増を注意深く見守る必要がある。

図表3: 輸出数量の推移



(出所) 財務省より筆者作成。

図表4: 地域別の輸出数量の推移



(出所) 財務省より筆者作成。

片岡 剛士

チーフエコノミスト、執行役員  
PwC Intelligence  
PwCコンサルティング合同会社

伊藤 篤

シニアエコノミスト  
PwC Intelligence  
PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク  
<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー Tel: 03-6257-0700